

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2004-141644(P2004-141644A)

【公開日】平成16年5月20日(2004.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2004-019

【出願番号】特願2003-209024(P2003-209024)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月25日(2006.4.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 制御装置が、始動入賞部品への球の始動入賞により表示器の当たり外れ図柄を変動表示するとともに、当たり外れ抽選を行ない、その当たり外れ抽選結果を取得して当たり外れ抽選結果記憶手段に記憶し、当たりの抽選結果により当たり図柄を表示器に停止表示した場合に、可変入賞部品の開閉体の開閉処理を行い、この開閉体の開放中に球の可変入賞部品への入賞により球払出機構を払出駆動するパチンコ機において、制御装置が、始動入賞検出手段と、始動入賞による当たり外れ図柄の図柄変動期間中の所定時期に、始動入賞検出手段でのさらなる始動入賞の検出により、当たり外れ抽選結果記憶手段に記憶されている当たり外れ抽選結果に当たりの抽選結果が存在するか否かを判定する判定手段と、この当たりの抽選結果が存在するとの判定手段での判定により当たりを予告する予告手段と、を備えたことを特徴とするパチンコ機。

【請求項2】 制御装置が、始動入賞による図柄変動期間中に表示器またはこの表示器とは別の表示器に所定時期を示す目印を表示する目印表示手段を備え、判定手段が、目印の表示に伴って起動される所定時期監視用カウンタからの時間情報を入力して所定時期を判定したことを特徴とする請求項1に記載のパチンコ機。

【請求項3】 目印表示手段が、表示器に、時間経過に伴って的図柄に向かって球図柄を近付けていくアニメーション図柄を表示し、判定手段が、アニメーション図柄の表示に伴って起動される所定時期監視用カウンタからの時間情報を入力して、的図柄に球図柄の当たる時又は当たる前又は当たった後又は当たる前後に設定された所定時期を判定したことを特徴とする請求項2に記載のパチンコ機。

【請求項4】 予告手段による当たりの予告を音あるいは図柄あるいは光あるいはこれらのうちの2つ以上の組み合わせで報知したことを特徴とする請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のパチンコ機。

【請求項5】 判定手段が、図柄変動を発生させた始動入賞により得られた当たり外れ抽選結果の当たり外れを判定したことを特徴とする請求項1ないし請求項4のいずれかに記載のパチンコ機。

【請求項6】 制御装置が、予告手段の他に、当たりの予告を行うか否かを決定する決定手段を備えたことを特徴とする請求項1ないし請求項5のいずれかに記載のパチンコ機。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

## 【課題を解決するための手段】

本発明によれば、制御装置が、始動入賞部品への球の始動入賞により表示器の当たり外れ図柄を変動表示するとともに、当たり外れ抽選を行ない、その当たり外れ抽選結果を取得して当たり外れ抽選結果記憶手段に記憶し、当たりの抽選結果により当たり図柄を表示器に停止表示した場合に、可変入賞部品の開閉体の開閉処理を行い、この開閉体の開放中に球の可変入賞部品への入賞により球払出機構を払出駆動するパチンコ機において、制御装置が、始動入賞検出手段と、始動入賞による当たり外れ図柄の図柄変動期間中の所定時期に、始動入賞検出手段でのさらなる始動入賞の検出により、当たり外れ抽選結果記憶手段に記憶されている当たり外れ抽選結果に当たりの抽選結果が存在するか否かを判定する判定手段と、この当たりの抽選結果が存在するとの判定手段での判定により当たりを予告する予告手段と、を備えたので、始動入賞による当たり外れ図柄の図柄変動期間中の所定時期にさらなる始動入賞があり、当たりの抽選結果が当たり外れ抽選結果記憶手段に存在する場合には、予告手段により必ず当たりを予告するために、遊技者は図柄変動期間中の所定時期に集中して始動入賞を狙って当たりの予告を得ようとするので、図柄変動期間中における遊技者によるいわゆる「止め打ち」を抑止する効果が期待できるようになる。

また、制御装置が、始動入賞による図柄変動期間中に表示器またはこの表示器とは別の表示器に所定時期を示す目印を表示する目印表示手段を備え、判定手段が、目印の表示に伴って起動される所定時期監視用カウンタからの時間情報を入力して所定時期を判定したことにより、目印を見ながら所定時期に始動入賞を狙わせるという遊技を遊技者に対して演出できるので、遊技性が向上する。

また、目印表示手段が、表示器に、時間経過に伴って的図柄に向かって球図柄を近付けていくアニメーション図柄を表示し、判定手段が、アニメーション図柄の表示に伴って起動される所定時期監視用カウンタからの時間情報を入力して、的図柄に球図柄の当たる時又は当たる前又は当たった後又は当たる前後に設定された所定時期を判定したので、的図柄に球図柄が当たる時期を狙って始動入賞を狙わせるという遊技を遊技者に対して演出できるので、遊技性が向上する。

また、予告手段による当たりの予告を音あるいは図柄あるいは光あるいはこれらのうちの2つ以上の組み合わせで報知したので、遊技者に対して当たりが得られたことを確実に演出でき、遊技性が向上する。

また、判定手段が、図柄変動を発生させた始動入賞により得られた当たり外れ抽選結果の当たり外れを判定したので、当たりの予告の後に図柄変動が終了すれば必ず当たり遊技となり、遊技者は所定時期に始動入賞させたことにより当たりを引き当てたと錯覚するようになるので、遊技者は当たりの予告を得るために図柄変動期間中でも始動入賞を狙うようになり、「止め打ち」抑止効果も高くなる。

また、制御装置が、予告手段の他に、当たりの予告を行うか否かを決定する決定手段を備えたので、嘘の当たりの予告を行わせることも可能となるので、演出バリエーションが増え、遊技性も向上する。